

楽園だより

今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2025年 3月1日 No.83

楽園住宅は日本で高断熱高気密が始まった1990年頃より様々な工法を試してきました。

その中で一般社団法人 新木造住宅技術研究協議会(略称 新住協)に出会い

「住宅を科学してつくる」ということを学びました。

それは、建設地の気候風土に最適で快適かつ省エネそして耐久性の高い木造住宅をつくること。

今回はその長年の経験と技術を活かし地域の資産となるような高環境性能施設の建設に挑戦します。

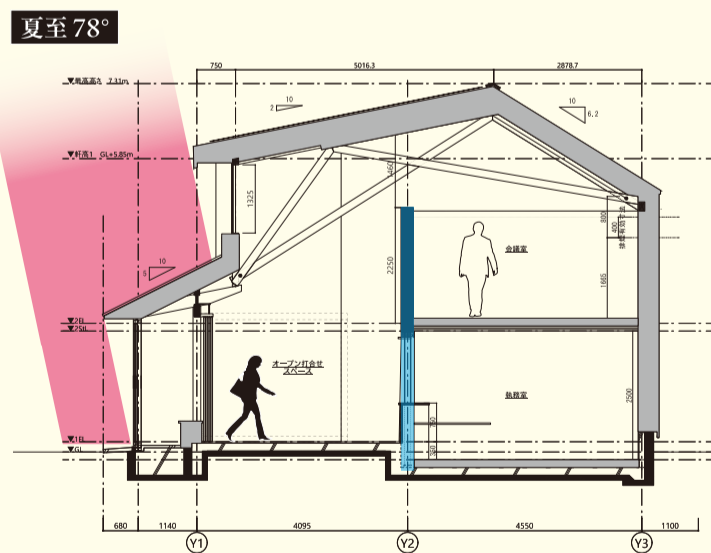
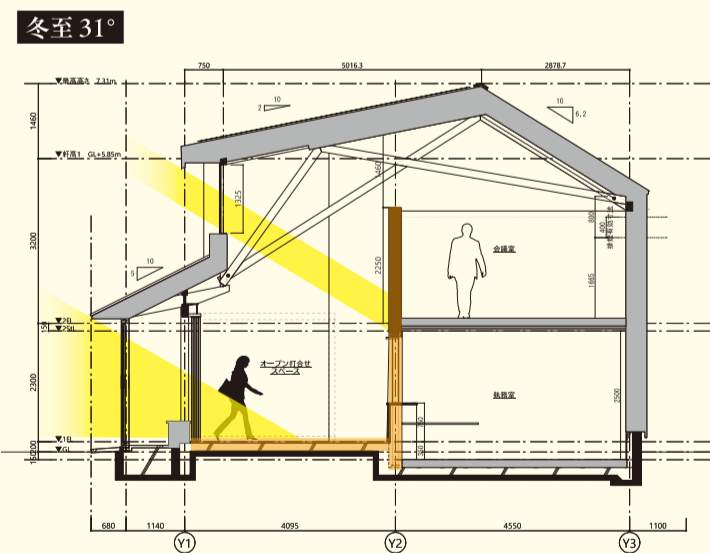


地域工務店が造る 高断熱高気密住宅のノウハウを活かした 高環境性能木造施設

10組程のトラスを先組みし、そのまま吊り上げて設置します。

この日は総勢10名の大工さんで作業しました。

内側から見たトラス材。完成後もこのトラス材を見ることができます。



冬季は積極的に日射を取り入れ、床スラブと土塗り壁の蓄熱体に熱を蓄える。補助用暖房として床スラブ内に温水を流し室内を暖める。夏季は庇と外付けブラインドで日射を遮る。躯体の一部にCLT厚36mmと150mmを使用。(Cross Laminated Timber)

断熱性能	
Q値	0.65W/m ² K
UA値	0.26W/m ² K
ηAH値	3.4
ηAC値	1.7
断熱構成	
屋根	高性能グラスウール20K 105mm+105mm+105mm
壁	高性能グラスウール20K 120mm+105mm+105mm
基礎立上り	押出法ポリスチレンフォーム3種b 100mm+75mm
基礎底版	押出法ポリスチレンフォーム3種b 100mm
開口部	
南面	木製サッシ・造作 アルゴンガス入り LowEトリプルガラス
北面	樹脂サッシ アルゴンガス入り LowEトリプルガラス

宿泊体験モデルハウスのご案内 年中快適



住所：恵那市長島町正家一丁目11番地1

長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう！
無料宿泊体験できます！

楽園住宅

『人と環境に優しい
家づくりをする工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5 TEL 0573-26-5122



公式LINE はじめました！

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、なんでもお問い合わせください!! また、こんな事本気でやって欲しい!ということがございましたらぜひ、リクエストお願いいたします。



楽園住宅

イギリスの報告②



9月に個人旅行でイギリスへ行く機会がありましたので見て来た事を5回に分けて報告します。

夜はホテル近くのULI(マレーシア料理のチェーン店)と言うアジアレストランへ入った。野菜のギョーザ、ワントンスープ、チャーハン他、食後に珈琲、デザートを食べた180.18GBP、日本円で34,700円、8,675円/人まちなかの普通のレストランだ。イギリスは世界中に多くの植民地があったので多国籍料理がロンドンでは普通に食べられる。翌朝、イングランド西部に位置するバース*を観光するためにUberでキングスクロスにあるEuropcar(レンタカー会社)の営業所へ行く。日本で予約するときにオートマチックでカーナビが付いている車をリクエストした。ヨーロッパではマニュアルの車かEV(電気自動車)が普通で我々の希望は特別なようだ。



*借りたベンツE220

*バース(Bath)はローマ時代に温泉の町として栄え、英語のお風呂bathの語源でもある

4日間借りて全て込みで燃料代別の1,006.92GBP、日本円で191,270円と1日約48,000円になった。メルセデスベンツE220を保険はフルカバー、運転手1人追加の条件で借りた。ベンツを運転することは初めてなので、レンタカー会社のスタッフに操作法を教えてもらい出発する。イギリスは日本と同じ右ハンドル・左側通行でオーストラリア・ニュージーランドと同じ。郊外の交差点はロータリー(ラウンドアバウト)が多く、ロータリー内に他の車がいなければ徐行して左廻りで止まらずにロータリーに入り、目的の分岐で左に指示器を出して出る。踏切でも一時停止せずに徐行して通過する。スピード表示はマイルなので約1.6倍するとkmとの換算ができる。イギリスでレンタカーを借りるには日本の代理店で予約して、国際免許と日本の免許証を持って行けば逆ハンドルでもないで比較的簡単にクルマが利用できる。マニュアルの小さなクルマを借りて携帯電話のナビ機能を使えば半額以下のレンタカー料金ですむ。

クルマの速度制限が自動車専用道路(高速道路M)主要地方道Aで表示されている場合は70マイル(1車線は60マイル)、その他は30マイルなので標識に注意する。オートマ

チック車やカーナビはグレードアップになってレンタル料が高い高級車になってしまうことが多い。

レンタカーで走り始めると、ロンドン市内の高架の自動車専用道路で30マイル規制があったので、後日Uberで同じ道路を走ったとき運転手に「何故、自動車専用道路なのに70マイルでなく30マイルに規制されているか」尋ねると、「騒音問題で規制されている」との答えが返ってきた。交通ルールを守って全てのクルマが30マイルでゆっくり走っていた。ロンドンから高速道路M4と主要地方道A46を通過して約2時間(200km)、途中サービスエリアのバーガーキングでハンバーガー33.92GBP(ハンバーガーと紅茶で約1,700円/人)を食べた。

余談だがイギリスでは高速道路に料金所がない。今回の旅行で4日間高速道路を走ったが、通行料は一度も取られていない。イタリアやフランスでは日本と比較するとはるかに安い通行料を取られた記憶がある。ドイツでも有名なアウトバーンは無料だったが、ドイツからオーストリアに入ったときにナンバープレートがドイツだったので、最初のパーキングエリアで通行料のチケットを買うシステムがあった。(10年前の記憶)

バースの旧市街にあるホテルには駐車場がないので、町の入り口にあるスポーツセンターの駐車場に翌朝までの駐車チケットを券売機で買ってフロントガラスの見えるところへおいた。しかし、翌朝8時までの駐車料金しか払っていないのに10時半まで駐車していた。駐車場へ行くと、すでに駐車違反のチケットが貼られていた。駐車料は1時間1GBPなので2.5GBP(500円)だが駐車違反のチケットには2週間以内に支払えば10倍の25GBP(5,000円)と書かれ、その期間を過ぎると20倍の50GBP(10,000円)になると書いてあった。すぐに支払い方法の中からクレジット決済をえらんで支払い手続きをしたつもりでいたが、英語の駐車違反の切符の翻訳に手間取り、決められた時間内にWEBでの決済手続きが終わっていなかったらしい。自分では支払いが終わっていると思っていたのだが、後日レンタカー会社からメールでバース市のSomerset協議会(施設管理団体)から個人情報照会があったのであなたの日本の住所を教えたメールがあり、数日後、封書で駐車違反の書類がイギリスから届いた。結果、レンタカー会社の事務手数料が40GBP(8,000円)別に50GBP(10,000円)の罰金をクレジットカードで支払った。日本円の約500円の駐車料金の支払いが遅れて結果的に約18,000円を後から払う事になった。罰

金50GBPを支払うときに画面の最後に全ての手続きを15分以内に終わるように書かれていることに気がついた。

バースはイギリス有数の観光地のひとつで三日月のような形をした建物、ロイヤル・クレセント(集合住宅)がある。他にも町の中心にあるローマン・バス(ローマ時代のプールが併設された温泉施設)、バース・アビー(修道院)等、それらの建物はベージュ色に統一されている。



*ロイヤル・クレセント(集合住宅)



*ローマン・バス(浴場)



*バース・アビー(修道院)

旧市街をめぐる2階建て観光バスツアー(乗り降り自由1日22GBP/人4,400円)で約50分掛けてバースの町を一周した。旧市街の中心にあるザホテルバース(The Z Hotel Bath)は1泊1室180GBP(150GBP+消費税30GBP)日本円34,585円。このホテルは各部屋のシャワールーム・トイレもバリアフリー仕様になっていた。



さすが「ゆりかごから墓場まで(From the cradle to the grave.)」の国、福祉先進国イギリスだと思った。夕食はサラマンダー(山椒魚)という伝統的なイギリスのパブへ行っただが満席で入れずチェーン店のピザエクスプレスでワイン・ピザ・パスタ・デザート・珈琲で118.8GBP4人分(23,760円)、5,940円/人だった。

バースの地名の由来ローマン・バスは1世紀にできた大浴場。ローマ人は各地で公衆浴場を建設してきたがプールまで備えた大浴場は珍しい。入場料がローマン・バス26GBP(5,200円)/人・バース・アビー(修道院)の入場料7.5GBP(1,500円)/人も日本円に換算すると高く感じた。

木から学ぼう vol.8 SDGs!

地球もよろこぶ木の家のチカラ



前回、木を使うことが環境に良い理由として、健全な森林を保つためには「伐る、使う、植える」のサイクルが必要だと説明しました。木を適切に利用することで、森林の持続可能な管理が可能になり、地球環境への負荷を軽減することができます。今回はその「使う」部分に焦点を当て、木造建築の魅力やメリットについて詳しくお話しします。

1. 自然環境への優しさ

木材は再生可能な資源であり、持続可能な方法で利用することで環境への影響を抑えられます。木材は二酸化炭素を吸収・固定化するため、地球温暖化防止に貢献します。また、建築方法によっては冬は暖かく夏は涼しい住まいを実現できるため、冷暖房のエネルギー消費を抑え、環境に優しい選択肢となります。

2. 木材の断熱性と気密性

木材は自然の断熱材として優れており、鉄やコンクリートに比べて熱伝導率が低く、室内の温度を快適に保ちます。このため冷暖房効率が高まり、省エネルギーにつながります。また、気密性が高く、安定した室内環境を提供します。

3. 持続可能性と低環境負荷

木材は製造過程でのエネルギー消費が少なく、鉄やコンクリートよりも温室効果ガスの排出量が抑えられます。成長過程でCO2を吸収する特性もあり、地球環境に優しい建材として注目されています。

4. 快適で健康的な住環境

木材は湿度を自然に調整する特性があり、室内

を適度な湿度に保つことでカビの発生を抑えます。また、木の温かみや香りはリラックス効果をもたらし、心地よい住環境を提供します。

5. 耐久性と長寿命

適切にメンテナンスを行うことで、木造住宅は長寿命を実現できます。また、木材は軽量で柔軟性があり、地震に強いという特徴があります。日本のような地震が多い地域でも安心して住める住まいです。しかし、木材は燃えやすい素材であるため、火災時の安全性が懸念されることがあります。近年では耐火処理技術の進歩により改善が進んでいますが、鉄やコンクリートに比べて火災への弱さが課題の一つとされています。

まとめ

木造建築は環境に優しく、快適で健康的な住まいを提供する素晴らしい選択肢です。木材を利用することで地球温暖化の防止に貢献し、持続可能な未来を支えることができます。エネルギー効率が高く、長期間快適に暮らせる木造住宅は、私たちの暮らしをより良いものにする重要な選択肢となるでしょう。



エアコン1台で家中どこでも快適な空間をぜひ体感して下さい

体感見学随時受付中!

恵那市長島町正家一丁目5番地5
TEL 0573-26-5122

楽園住宅

